

令和8年3月議会定例会 行政報告

住 民 課

「特急はぼろ号の一部減便と乗降場所の変更」について

特急はぼろ号の一部減便と乗降場所の変更について、4月1日より札幌からの始発便と豊富からの最終便の羽幌・豊富間の減便と、遠別出張所の窓口及び待合室の閉鎖により、特急はぼろ号の乗降場所が同日より旧駅である「遠別（6丁目）」へ変更される旨、沿岸バス株式会社より説明がありました。

理由につきましては、人口減少等に伴う乗車人員減による運送収入の減少、人員不足や従業員の高齢化などにより、現状を維持することが困難な状況にあり、将来にわたって路線の維持に向けた対策であると伺っております。

これらを踏まえ、私としても町民の移動手段確保のための路線維持に向け、初山別村から豊富町までの関係5町村で存続について財政的な支援を含め協議検討してまいりましたが、残念ながら足並みが揃わず、減便について受け入れざるを得ない状況となりました。

また、乗降場所の変更に伴い、町が実施している待合所の管理業務について、札幌行の始発である特急はぼろ号の乗車に影響が無いように、開所時間を早めるなど、利用者の利便性を確保するため、受託者との協議は済んでおります。

沿岸バスとして、既に、ポスターによる周知、時刻表については沿岸バスのホームページに変更内容が掲載されていますが、町としても広報えんべつ3月号に併せて周知いたします。

最後になりますが、一般路線バスについては、同じく4月1日より遠別出張所の閉鎖に伴い、遠別町国保診療所前に名称を変更し、診療所側に留萌行のバス停を新設し運行する事になっております。

令和8年3月議会定例会 行政報告

教育委員会

令和8年度北海道遠別農業高等学校入学者の出願状況について

北海道教育委員会から、令和8年度北海道公立高等学校の最終出願状況が発表され、遠別農業高校への出願者数は20名になりました。

少子化により中学校卒業生が減少する中、遠別農業高校では過去2年間の入学者が20名を下回ったことにより再編留保になっていますが、この時点で昨年度と比較すると3名多い状況になっています。

このことは、遠別農業高校と教育振興会、教育委員会が一体となって行ってきた中学校への生徒募集活動の範囲を広げたことや高校はもとより役場からの情報発信が一定の成果につながったのではないかと考えています。

今後も、遠別農業高校の入学者確保と魅力ある教育活動の充実に向けた支援に尽力してまいります。